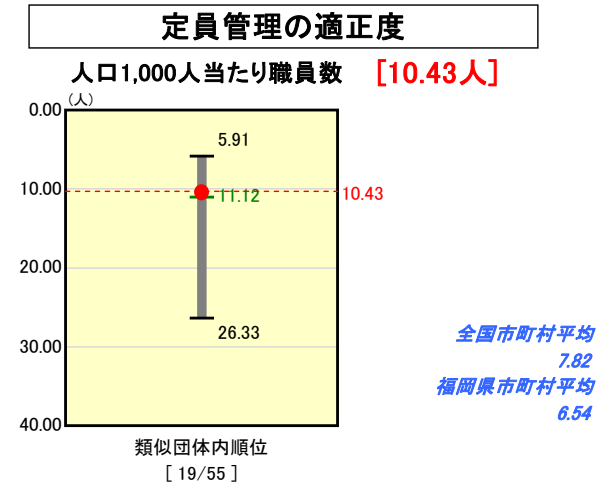
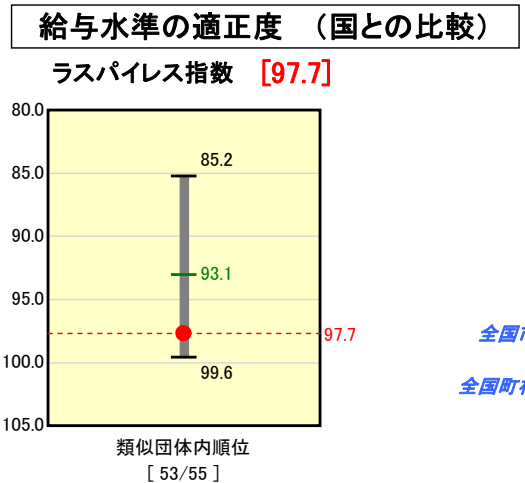
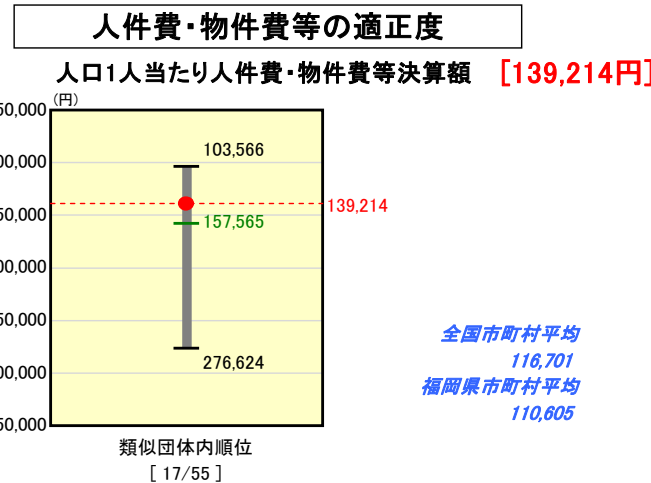
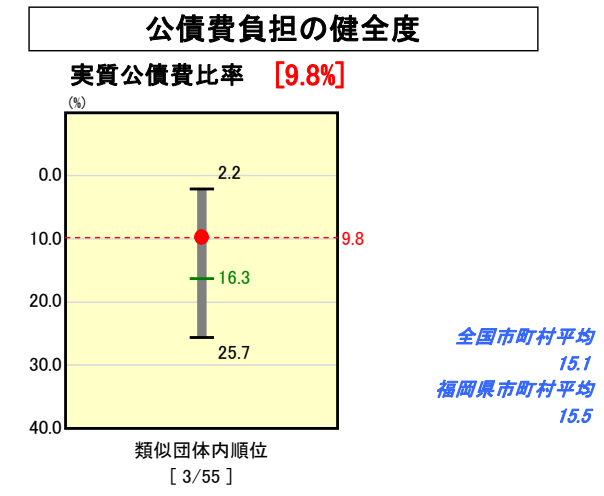
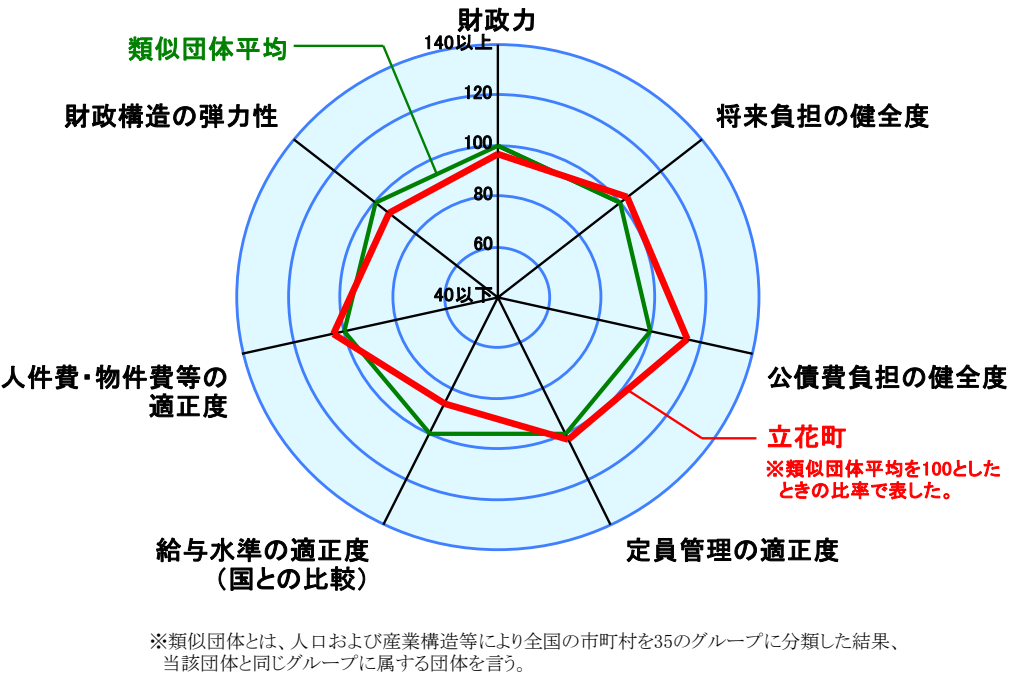
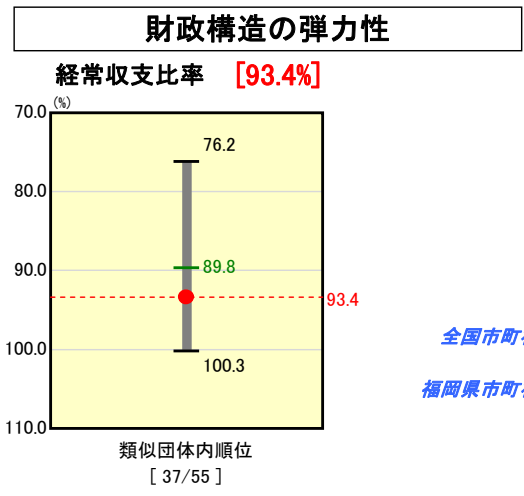
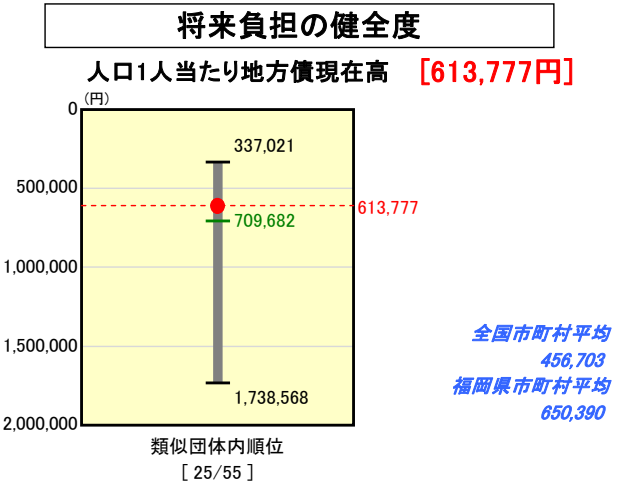
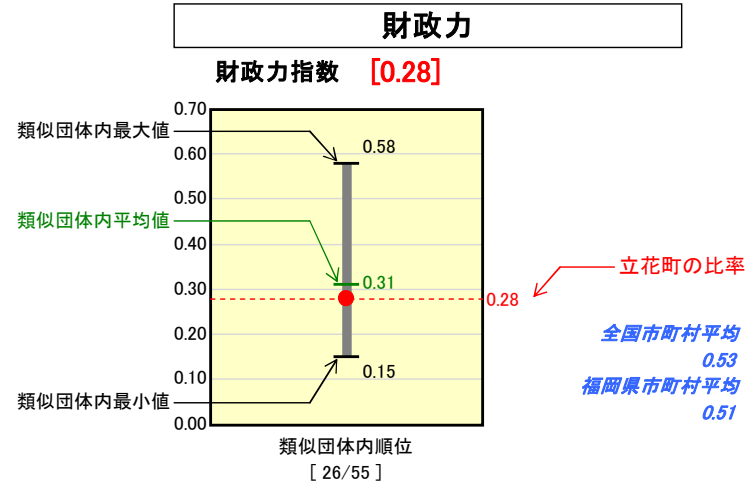


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

福岡県 立花町

人口	11,884 人(H19.3.31現在)
面積	86.64 km ²
歳入総額	5,086,972 千円
歳出総額	4,764,130 千円
実質収支	322,842 千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数:
人口の減少や全国平均を上回る高齢化率(平成18年末29.8%)に加え、基盤産業である農業の不振により、財政基盤が弱く、類似団体平均を下回っている。新立花町行政改革プランに沿った施策により、平成18年度は前年比0.01向上しているが、今後も活力あるまちづくりを展開しつつ、行政の効率化に努めることにより、財政の健全化を図る。

経常収支比率:
近年、三位一対改革によって、地方交付税の削減がなされ、一般財源の確保が厳しくなった反面、扶助費の増加によって経常収支比率が悪化している状況にある。「新立花町行政改革プラン」に掲げた、新規採用の抑制による職員数の削減(平成21年度までに15名の減)などの行政改革を通じて義務的経費の削減に努め、現在の水準からの改善を目指す。

ラスパイレース指数:
類似団体平均を上回っており、特別職の給与削減や管理職手当の削減や調整手当・管理職手当の削減によりいっそうの給与の適正化に努める。

実質公債費比率:
過去からの起債抑制策により類似団体平均を下回っている。今後は、普通会計の予算規模を抑制していく方針であるが、上水道拡張事業を平成22年度まで計画しており、一般会計から上水道特別会計への繰出金等の増加に伴う比率の悪化が予想されるため、普通会計債を抑制し、実質公債費比率を抑えていく。

人口1人当たり地方債現在高:
現在のところ類似団体平均を下回っているが、今後小中学校の統廃合を計画しており、新規の地方債借入が予想される。他の事業における地方債の抑制をしていかなければならない。

人口1,000人当たり職員数:
現在のところ類似団体平均を下回っているが、本町の地形的な条件により、学校や保育所数が多く、施設職員数が多いと判断される。施設の統合や職員数の適正化が必要である。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額:
類似団体平均を下回っているが、「新立花町行政改革プラン」に掲げた、新規採用の抑制による職員数の削減(平成21年度までに15名の減)など人事施策を進め健全化に努める。